

戸田市防災基本条例検討市民会議(第1回)

「第1回戸田市防災基本条例検討市民会議」が令和元年9月26日(木)に開催されました。

- 市長から委員の委嘱状を一人ひとりに交付しました。
- 会長には、地域防災の専門家である、跡見学園女子大学教授の鍵屋委員が選出されました。
- 防災基本条例の概要や、今後の検討市民会議の進め方について事務局より説明を行いました。
- 鍵屋会長から、「防災基本条例を創ろう！～地域防災力を継続的に高めるために～」と題してお話いただきました。
- その後、5グループに分かれ、ワークショップ形式で「一人暮らしで、車いすを使って生活しているおとしよりがご近所にいます。おとしよりの命を守り、命をつなぐためには、災害前に何をしたらよいでしょうか。」について意見交換しました。
- まず、各自でフセンに意見を書き出した後、模造紙にフセンを貼り、出された意見を分類しました。さらに、出された意見から良いと考えるものを3つに整理し、A4用紙に書き出しました。最後に、他グループの意見を見てまわり、良いと思った意見にシールを貼りました。



- 各グループの主な意見は次のとおりです。

Bグループ (21枚)	要援護者登録制度を教えて、助けてくれる人を決める 災害時に家族へ連絡できるように連絡先を聞いておく いつも飲んでる薬の置き場を聞いておく
Oグループ (25枚)	ご本人の体調の確認(目は見える?手は動く?薬を服用している?) 家の安全の確認(タンス等をとめる) 前もって非常時の対応を打ち合わせておく
Sグループ (19枚)	安否確認の方法を決めておく(確認用グッズの配布) 介助の必要な度合いも把握し、必要なサポートを具体化しておく 町会単位で車椅子の必要な人を把握し、避難訓練を行う
Aグループ (21枚)	薬なにか飲んでるの? どこで寝てるの? 普段からの声かけ
Iグループ (17枚)	お年寄りの方のニーズ ~要望など~ 具体的な避難方法 ~私たち自身も~ 日ごろからのあいさつ・声かけ

※ (枚) はシール枚数。